南小だより

佐世保市立吉井南小学校
№38　R．４．２．１８（金）
文責：山 口 伸 一 郎

みんな、清掃活動もがんばっています。

右の写真は、児童玄関の下足箱を掃除する子どもたちの様子です。学校では、水曜日を除く週４日、昼休み後に１５分間の清掃活動を行っています。短い時間ではあるのですが、各学級で校内の様々な場所を分担し、協力して清掃しています。

一回１５分間の清掃ですが、本校の子どもたちは労を惜しまず、時間いっぱい清掃活動に取り組む姿が多く見受けられます。特にこの冬場の時期は雑巾がけも冷たいので、敬遠しがちになりますが、しっかりと拭き掃除もがんばっています。１年生も初めはなかなか上手に用具を使えずに苦労していましたが、最近では使い方にも慣れ、手順もよく理解して、しっかりと掃除ができるようになりました。２年生以上の学年もがんばって取り組み、高学年はお手本となる活動ができています。

＜児童玄関の清掃活動の様子＞

前号でも書かせていただきましたが、本校では「凡事徹底」（当たり前のことを徹底してやり通す！）を合言葉に、「あいさつ」と「はきものそろえ」について、特に重点的に取り組んでいます。しかしながら、清掃活動（ごみを拾う）ことについても、まさに凡事徹底の一つとして、子どもたちにぜひ進んで実践してほしいと思っています。

昨年、野球の本場アメリカの米大リーグ、ロサンゼルス・エンゼルスで投手と打者の二刀流として大活躍した大谷翔平選手が大変な話題となりました。野球の成績での活躍はもちろんなのですが、大谷選手がグラウンドに落ちていたごみをさりげなく拾い、ユニホームのポケットにしまう姿が大きな注目を浴びました。**大谷選手は高校時代の野球部の監督さんから、「ごみは人が落とした運。ごみを拾うことで運を拾うんだ。そして、自分自身にツキを呼ぶ。そういう発想をしなさい。」と教わったそうです。**本当にすばらしいと思います。「落ちているごみを拾う」何気ない行動かもしれませんが、子どもたちにも前向きな気持ちをもって取り組んでもらえたらと思います。

「コロナ禍ですが、自分に合った運動もがんばりましょう！」

ご承知のように、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、子どもたちの活動も様々な影響を受けています。そのようななかで少し心配なのは、子どもたちの体力・運動能力の低下です。寒い日が多いことも重なり、ご家庭でもついつい部屋に閉じこもりがちになったり、ゲームやスマホの時間が長くなったりということはありませんでしょうか。

学校では、直接の身体接触や密の状態を避けながらの体育授業はなんとか実践できていますし、昼休みも多くの子どもたちが運動場に出て、身体を動かす様子が見られることはとても嬉しいことです。そのようななか、縄跳びや一輪車等に取り組んでいる子どもたちの様子も見られます。縄跳びは、自分自身の体力に合わせて取り組むことができ、心肺機能も鍛えられます。また、新しい技ができるようになる喜びも味わうことができます。一輪車は難しいと感じますが、子どもたちは遊びながら感覚を掴むとすぐにできるようになるようで、ひまわり公園をすいすいと乗っている子どもたちが多くいます。

コロナ禍でついつい室内にこもりがちになるところですが、時にはしっかりと気分転換を図り、自分に合った適度な運動を楽しんでほしいと思います。心も身体も健康に過ごせるように、一人一人が気をつけながら生活してほしいと思います。